

# 動画の視聴履歴に対するタグを検索のキーワードとして利用する 動的多段絞り込み検索システム

研究系卒研

0823001 相川 勇氣

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

近年、動画共有サイトで動画を視聴することが増えてきている<sup>[1]</sup>。過去に視聴した動画は時間が経つにつれて増えていくが、それらは動画のメタ情報により検索することができない。視聴した動画の web ページをブラウザの閲覧履歴から検索する場合、web ページのタイトルで検索できるが、人間の記憶は曖昧なもので動画の web ページのタイトルを間違えずに覚えておくことは難しい。

そこで本研究では動画共有サイトの動画に付けられたタグを検索のキーワードとして利用するシステムを提案する。

## 2. 複数のタグでの検索

試作システムは動画共有サイトの一つであるニコニコ動画<sup>[2]</sup>を対象とする。ニコニコ動画ではフォークソノミーによるタグ付が行われており、利用者が自由に作成したキーワードをタグとして付けることができる。しかし、このようなキーワードはあらかじめ定められた統制語彙ではないため、1件の動画にしか付けられないようなタグが多く存在する。

タグを複数選択し AND 検索を行う場合、動画がヒットしないタグの組み合わせが多くなると予想し、事前調査を行った。

事前調査は 10 件の動画を視聴した場合と 50 件の動画を視聴した場合で任意の 2 個のタグによる AND 検索を行い、動画がヒットするタグの組み合わせと動画がヒットしないタグの組み合わせを集計した。集計の結果を表 1 に示す。

表 1 集計の結果

	10 件の動画	50 件の動画
総タグ数	73	332
動画がヒットするタグの組み合わせ	299	1738
動画がヒットしないタグの組み合わせ	3329	53208

集計の結果、視聴した動画が増えると動画がヒットしないタグの組み合わせの割合が増加した。試作システムではこのような検索を省くことを考えた。

## 3. 試作システム概要

試作システムは視聴した動画に付けられたタグを

利用した検索システムである。

### 3.1 タグの選択による検索

視聴した動画に付けられたタグをすべて提示する。利用者は提示されたタグを選択することで検索し、キーワードを入力する手間を減らす。

### 3.2 動的多段絞り込み検索

複数のタグの組み合わせによる検索を行う。タグの選択による検索で得られた検索結果を利用し、既選択されたタグと組み合わせることで動画がヒットするタグを動的に提示する。

## 4. 結果

試作システムを 5 人の実験協力者に利用してもらい、5 段階評価によるアンケートを行った。アンケートの結果を表 2 に示す。

表 2 アンケートの結果

評価項目	悪い ← → 良い				
	1	2	3	4	5
検索に手間はかからなかったか	0人	0人	0人	1人	4人
今後このシステムを利用したいか	0人	0人	0人	1人	4人

アンケートの結果、試作システムでの検索は利用者の手間がかからないことがわかった。

## 5. おわりに

結果から試作システムは視聴した動画の検索に有用であることがわかった。

動的多段絞り込み検索はタグが複数付けられたコンテンツに対する検索であり、動画だけではなく他のコンテンツにも利用できる。

今後はユーザインターフェースを改良し、利用者がより検索しやすいシステムを目指す。

## 参考文献

- [1] 動画サイトの視聴数・視聴者数(2010年1月), <http://databoard.nikkeibp.co.jp/article/databd/20100617/101894/>
- [2] ニコニコ動画, <http://www.nicovideo.jp>